マイタウン 出雲

■本社報道部 TEL0852(32)3320
■出雲総局 TEL0853(21)0019
■雲南支局 TEL0854(42)0062
■安来支局 TEL0854(22)2069
■隠岐支局 TEL08512(2)0356

版画技法の変化紹介

江戸から昭和初期 所蔵の200点展示し

松江・県美

風景版画の作品に見入る来場者

県立美術館が所蔵する、江戸後期から昭和初期までの版画約200点を一堂に展示した「風景版画の変容」が、松江市袖師町の同館で開かれている。西洋から伝わった絵画技法を取り入れながら、変化していく作品が来場者を魅了している。2月4日まで。

日本を代表する浮世絵師・葛飾北斎や歌川広重から、明治時代に光と影を巧みに表現する「光線画」を生み出した小林清親の作品が目を引く。また、松江などの舞台にした川瀬巴一磨、松江市出身の平塚運一の作品もある。

巴水が描いた「出雲松江」は、同じ版木を使い、空の色を変えた三つの作品で、同じ所からの曇りの日、ぼろ月、三日月の時の変化を表現している。

東京都八王子市の主婦大柴のり子さん(39)が導入されたばかりである電線などが見えるろう電線などが見えれ、時代の変化も発見できた」と話した。

気合込め

冷たい水をものと

民鉄新聞コンクール

勝部君（奥出雲・阿井小5年）3回

最多タイ 一畑電車題

日本民営鉄道協会主催の第6回「私とみんなのてつ」小学生新聞コンクールで、奥出雲町上阿井の阿井小5年勝部俊輔君(11)が佳作を受賞した。勝部君は小1から応募し、今回が3回目の入賞で、民鉄協会によると入選回数は最多タイ。今春6年に部君は、全なる4回目の入目指し、意気込んでいる。

勝部君は一畑電車100年の歴史をすっきりにまとめ、を京王電鉄の旧色に戻す塗装体験に参加したりポートを掲載した

あったとは、3回

れも題材は一畑電車た。勝部君は「今の新聞の題材にしよ

ンポーズや拍手

「じゅんすけ新」住作を受賞した勝部俊輔君

山陰中央新報に載りました！

ボードゲームで遊んで

山陰初 松江に専門店開店

海外含め30種類超並ぶ

「ホワイエピッコリーノ」でボードゲームを楽しむ来店客ら

山陰初のボードゲーム専門店「ホワイエピッコリーノ」が、松江市大草町に開店した。国内外のボードゲームを販売するほか、店主の池田典彦さん(39)が遊び方を手ほどきし、盤を囲んで会話を楽しむ地域の社交場として来店者に利用してもらう。

店頭には30種類以上のボードゲームが並び、世界にまん延するウイルスと闘うアメリカのゲーム、世界の七大文明を強大化させて順位を競うドイツの製品などが豊富にそろう。

小さいころからゲームに親しんできた池田さんは昨年、15年間務めた会社を退職。しまね起業家スクールに通い開店準備を進めた。

進路を決定づけたのが、カードをめくり陣地を取り合うドイツのボードゲーム「カルカソンヌ」との出会い。シンプルながら深い戦略性にひかれ、家族で連日遊び続けたという。

店名のホワイエは仏語で「だんらんの場」を意味し、ボードゲームを「人と人とをつなぐ最適のコミュニケーションツール」と考える池田さんは、経験や年齢を問わず、有料でゲームを楽しんでもらうスペースを設けた。

池田さんは「今後は地域にも出向き、ボードゲームの魅力を広めていきたい」と意気込む。火曜日が定休日で、午後1時から同9時まで営業している。

北陵高生が原画制作

110番の日ポスター 依頼の出雲署に贈呈

出雲北陵高校（出雲市塩冶有原町2丁目）の同校の生徒から
石倉繁樹署長（左）にポスターの原画を贈る生徒

長ぐつホッケー参加チーム募集

出雲・湖遊館

出雲市園町の湖遊館は、2月14日から4日間開く、冬季恒例の「湖遊館杯争奪長ぐつアイスホッケー大会」の参加チームを、27日まで募集している。

長ぐつアイスホッケーは北海道が発祥の地。8人でチームを編成し、靴底に滑り止めのピンなどが付いていない市販の長靴を履き、10分の試合時間で得点を競う。

参加資格は小学4年生以上で、一般の部は2チーム、少年・女子の部は10チームを募集。1チーム12人まで登録できる。参加希望チームは、申込用紙に必要事項を記入して参加料3千円を添え同館総務口に提出する。

同館は、初心者にルールや基本動作を覚えてもらうための教室を開催。27日に初級教室、30日と2月3、4、6日に中級教室を開く。

詳細の問い合わせは湖遊館、電話0853(62)5600。

献血

【10日】松江市＝大輪町・血液センター（9時～16時半）西津田・島根ヨペット（9時半～11時）上乃木・松江青葉病院（13～15時）▽出雲市塩冶町・保健所献血ルームふれあい（9時半～16時半）

訃報

松浦　定男氏（まつうら・さだお＝元山陰中央新報社編集局写真部長。NHK知財展開センターアーカイブス部チーフ・ディレクター松浦隆志氏の父）8日午前2時11分、病気のため松江市内の病院で死去、80歳。自宅は松江市石橋町397。葬儀は12日午後2時から市内西川津町のカワツ会館で。喪主は長男隆志（たかし）氏。

岡田　邦雄氏（おかだ・くにお＝岡田セメント工業代表。同社勤務岡

雲市内の病院で死去、91歳。自宅は出雲市斐川町神庭1272の1。葬儀は10日午後2時から市内斐川町荘原の虹のホールひかわで。喪主は長男一男（かずお）氏。

森山　カツ子さん（もりやま・かつこ＝山陰中央新報大社東販売所所長、森山瓦店代表森山敬朗氏の祖母）9日午前8時50分、老衰のため出雲市内の老人ホームで死去、85歳。葬儀は神式により12日午後2時から出雲市大社町杵築南844